

業 務 瓦 版

2019年 9月 2日

第 32 号

JR東海労新幹線地本
業 務 部

撮影は、操作盤と手元のみ、録音はしていない

「外勤へのドライブレコーダー設置による、24時間 監視労働の撤回申し入れ」について窓口回答

新幹線地本が8月7日に緊急に申し入れた「東京仕業検査車両所における24時間監視労働に関する緊急申し入れ」（幹地申第1号）に対して、9月2日会社から窓口回答がありました。

会社側は、「業務委員会の開催事項（付議事項）にあたらなため業務委員会は開催しない」というものでした。組合側は開催して議論することを主張しましたが対立となり、窓口説明にとどまりました。

《 申し入れ内容及び回答（窓口） 》

【 東京仕業検査車両所における24時間監視労働に関する緊急申し入れ 】

8月5日の点呼から周知事項として、外勤室の操作盤を監視するカメラの設置について伝えられた。このカメラによる監視は24時間切れなく行われるということであり、労働者の監視労働そのものであり、精神衛生上、プライバシー保護の観点から問題であり、設置はすべきでないと強く訴える。

よって以下について緊急に申し入れるので速やかに対処すること。

記

1. 東京仕業検査車両所の外勤室への監視カメラの設置は行わないこと。

【会社回答】

外勤室のカメラは、機器異常や操作不良が発生した際の事実確認および振り返り教育に使用するためのものであり、撤去する考えはない。

以 上

《 主な議論内容は以下の通りです 》

24時間監視労働はプレッシャー！逆にヒューマンエラー

一を誘発する要因とならないか！

組合：会社の考え方については事柄承知した。組合の考えは業務委員会を開催して議論すべきである。説明の中で、「異常発生時の事実確認」というが、現場の点呼での説明では、「ヒューマンエラー防止」が目的であると言っている。

会社：なにか発生した時にすぐに事実確認できて対策も速やかにできるため、ヒューマンエラー防止につながる。

組合：それは次のヒューマンエラー防止ということだ。未然に防止するためということでは効果は期待できない。

24時間監視された労働はプレッシャーとなり、むしろ余計な緊張や、カメラに気を取られて作業に集中できず、逆にヒューマンエラーを起こすのではないかと危惧している。

写しているのは操作盤と手元のみ、録音はしていない！

会社：声は録っていないと言っている。

組合：それは間違いないか。

会社：はい。ただ、振り返り教育などで撮る場合は音声も録ることもあると聞いている。

組合：訓練や教育では別のカメラを用意しているのではないか。

会社：常時のカメラは定点で、写しているのは基本的には操作盤と手元のみで録音はしていないということである。

組合：画像を一緒に確認できないか。

会社：そのような考えはない。

組合：何かあったときに、社員をいたずらに追い詰めることに活用されるのではないかという懸念もある。

会社：いたずらに追い詰めるつもりはない。標準化作業をきちんとしてもらえばよい。

組合：社員を信じていないのか。

会社：・・・。

組合：いずれにしても、業務委員会が開催されないことについて対立を確認する。

以上

*** 私たち JR東海労新幹線地本は、安全で安心して働きやすい労働条件及び職場環境の改善に向けて、今後も会社に申し入れを行い問題解決に向け協議していきます。**